

帯状疱疹（带状疱疹）

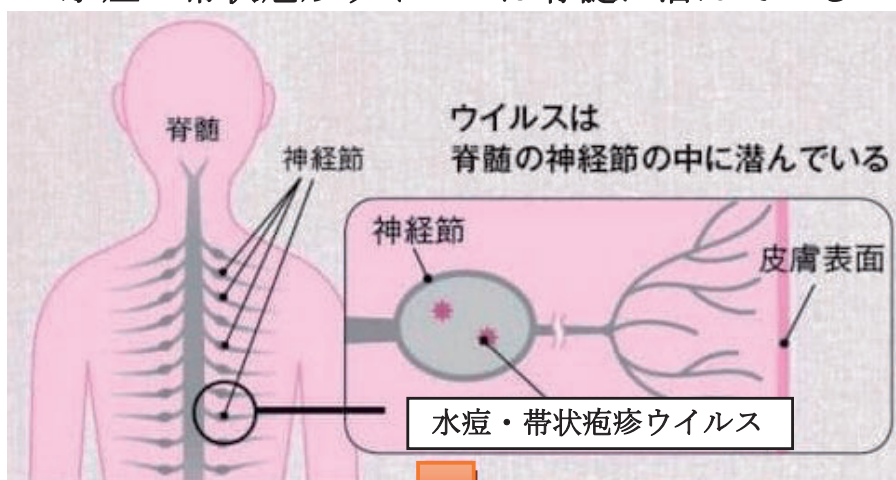
愛媛医療生協

【原因】

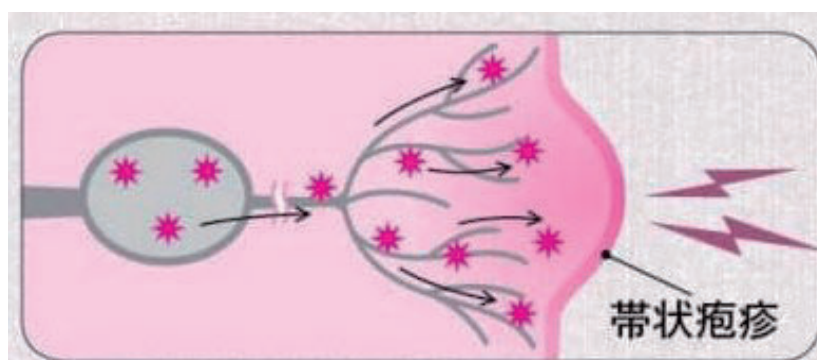
水痘 - 带状疱疹ウイルスは、水痘の感染後に、神経節に潜んでいます。

加齢、病気、疲れ、ストレスなどによって免疫力が低下すると、ウイルスが再活性化し带状疱疹として発症します。

水痘・带状疱疹ウイルスは脊髄に潜んでいる



ウイルスが再活性化して皮膚表面に移動し痛みや発疹が出る



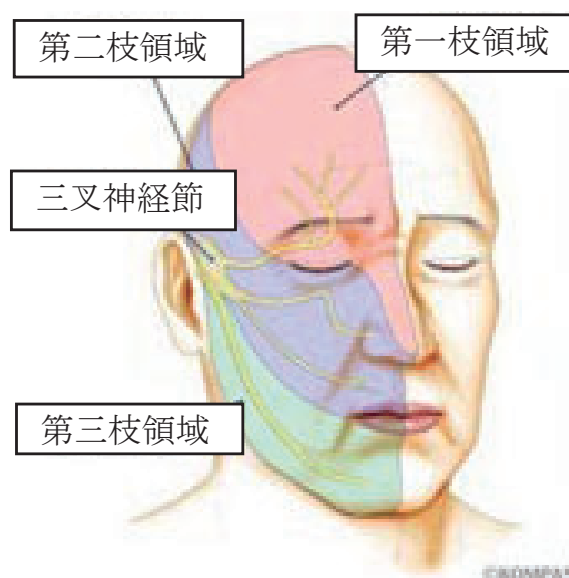
引用：三弓素青
(一部改変)

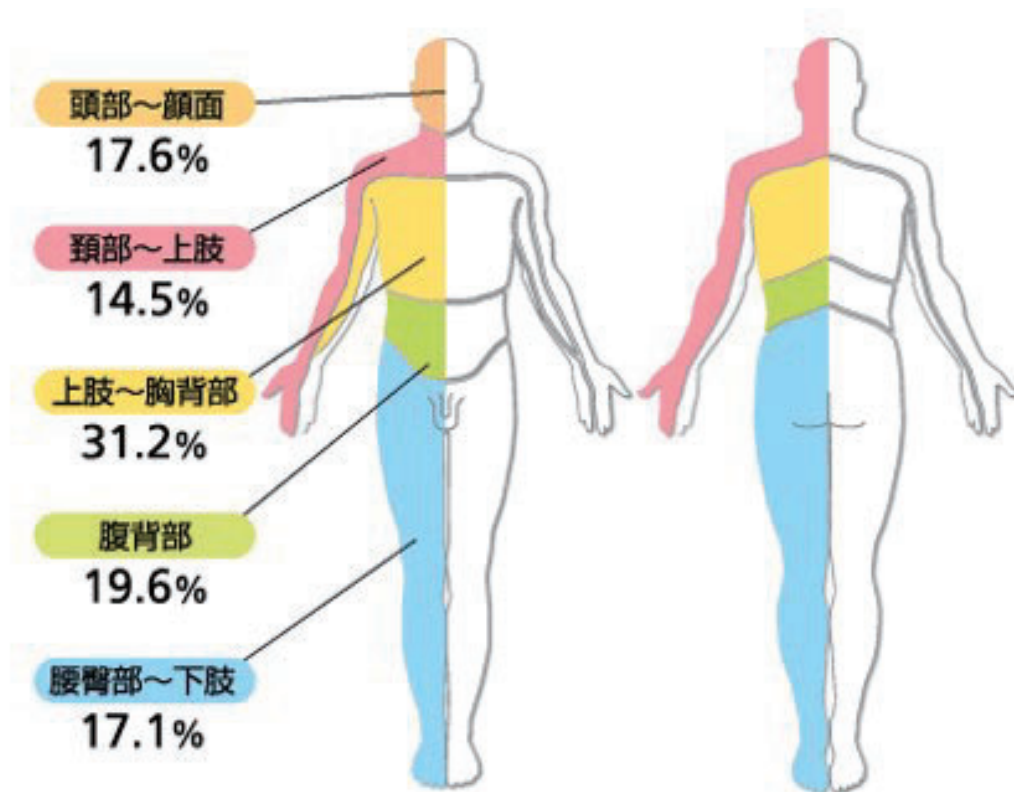
【症状】

主に三叉神経節や脊髄後根神経節に潜伏感染しており、再活性化した神経支配領域にピリピリするような赤い発疹が出現し、やがて粟粒大～小豆大の紅暈を伴う小水疱が身体の片側に、集簇性または散在性に生じるのが特徴です。

小水疱はやがて、黒褐色の痂皮となり自然の経過では約2～3週間で治癒します。

多くの場合は神経痛を伴い、治癒後も強い痛み（疱疹後神経痛）が残ることがあります。眼瞼に生じると眼球がおかされることがあります。





引用文献：日本皮膚学会雑誌 マルホ株式会社HP 石川博康ら 113 (8)、1229 (2003) 改変

【治療】

抗ウイルス薬の内服をできるだけ早期に行います。局所には抗ウイルス薬の軟膏を塗布し、できるだけ外気に直接接触させないようにします。重症例では、入院の上、抗ウイルス薬の点滴静注を行います。

【生活指導・看護】

初期には痛みのため不眠となることがあります。1～2 週間で徐々に疼痛は軽減していくため十分な安静と休養をとりましょう。

治癒後、瘢痕が残りますが次第に目立たなくなります。

回復期の入浴はかまいません。

【再発の予防】

帯状疱疹は高齢者に多く、発症率は50代で増え始め、70代でピークになります。2016年3月に水痘生ワクチンの接種対象者に「50歳以上の者に対する帯状疱疹の予防」が追加されました。自費接種ですが、基礎疾患を有する高齢の方に接種が推奨されています。

また、2020年1月に不活化ワクチンの「シングリックス」という新しいワクチンが導入されました。

極度の疲労やストレスなども免疫力の低下を招き、再発の原因となります。栄養バランスの良い食事・十分な睡眠・適度な運動を心がけましょう。

皮膚や粘膜にピリピリ、ムズムズといった違和感、熱を持った感じや痛みが出現するようであれば早めに病院を受診しましょう。

(2020.07.04)